

DISCOVERY×FORMULA

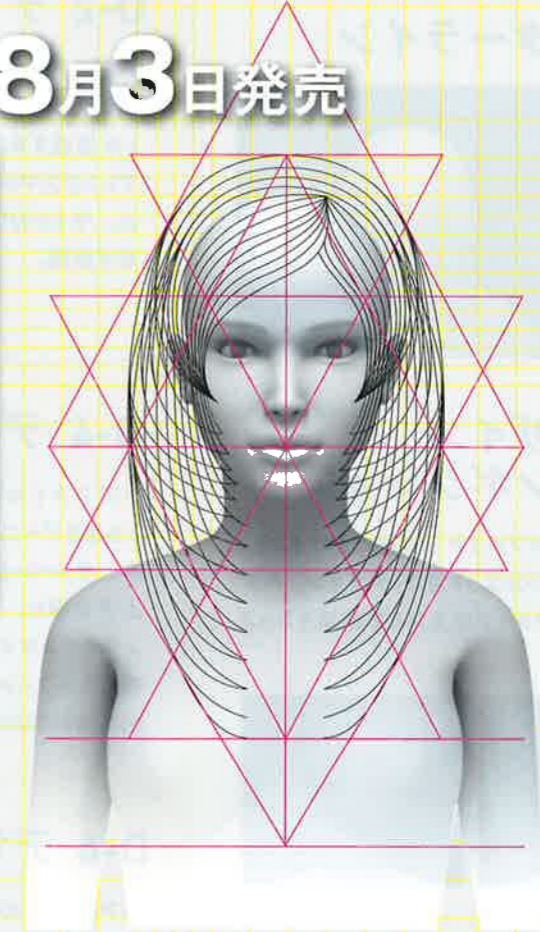
なんとなくデザインする時代は終わった



HAIR DESIGN 7×7 デザインの方程式

八木岡 聡 (DaB) 著
本体価格 12,000円+税
B4判変型 / 224ページ

2018年8月3日発売



売れるヘアデザインは7×7で求める
一生もののセンスを手に入れる
見えない線が見えるようになる本



キャリア42年の集大成。
不世出のヘアデザイナーが
3年をかけた大作

八木岡 聡 (DaB代表)
1996年、東京・代官山にDaBをオープン。現在は表参道と合わせて2店舗を展開。サロンワークでは週4日勤務ながら、圧倒的な売り上げを記録するトッププレイヤーで知られる。また、インダストリアルデザイナーとして照明器具や家具、美容関連器具のプランニングやデザインも手がける。著書に「BLOCK 7」(髪書房刊)など。



なぜ今、ヘアデザインに方程式が必要なのか

「あの美容師がつくるヘアスタイルはバランスが良い」という声をよく聞きます。では、ヘアデザイン力でお客さまに支持されているスタイリストは何を根拠に「上手い」と言われるのでしょうか。

構想10年、執筆3年——
これまで感覚的に語られてきたヘアデザインのバランス=センスを解説したのが本書です。センスとは決して個人だけが所有する感性ではなく、誰もが等しく身につけられるロジックだと思うからです。本書に掲載したヘアデザインの成り立ちを理解していただければ、サロンワークに必要なスタイルの9割は視覚化できると確信しています。
写真で床を埋めつくしているのは原画です。読者の皆さんが鏡越しにお客さまと向き合ったとき、これまで見えなかった「絶対バランス線」が見えることを願って、1本1本の線を描き続けました。
美容師として“生きる力”を蓄え、生涯現役で生涯顧客と共に人生を歩む。そんな未来を生きる骨太なヘアデザイナーへ、本書を贈ります。

CONTENTS

THE FIRST SESSION	PREPARATION 骨格やヘアの基礎知識
	DISCOVERY 絶対バランスヘアアプローチする7つの道具
THE SECOND SESSION	FORMULA ベストバランスを導く7つの公式
THE THIRD SESSION	印象変換 テイストとニュアンス別にひも解くリアルデザイン

- こんな方におすすめ
- 生涯顧客に支持されるヘアデザイナーとして生きたい
 - ヘアデザインのバランス力を磨きたい
 - サロンワークに必要なヘアデザインを効率よく学びたい
 - お客さまへのプレゼン力を高めたい
 - 教育者として、社内におけるヘアデザインの共通言語をつくりたい
 - 将来、自分の技術書、ヘアデザイン書を著したい



『HAIR DESIGN 7×7』申込書 本体価格 12,000円+税

下記申込書に必要事項をご記入の上、お取引ディーラーへお渡しく下さい

サロン名	お名前	
	サロン住所	
	注文冊数	冊
	TEL	FAX
	E-mail	
	ご注文がご不便な方はオンラインショップへ! 髪書房オンラインショップ https://kamishobo.shop-pro.jp/	
	取引ディーラー社名・ご担当者 ディーラー様の社名ゴム印などを押して、 サロン様へお渡しく下さい	

ヘアデザインの方程式 = DISCOVERY 7 × FORMULA 7

どうすればバランスの良いヘアスタイルをつくれるのか。

本書では方程式をDISCOVERY(=発見)とFORMULA(=公式)に分解し、それぞれ7つの「因子」を詳解。

著者がサロンワークで駆使している「感性のスキル」を徹底的に理論化しました。

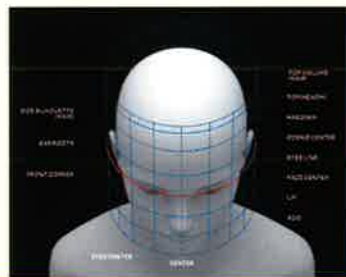
DISCOVERY 7

絶対バランスヘアアプローチする7つの道具

ヘアスタイルのラインやシルエットを把握するために、グリッド(座標)やスケール(測定線)、形を示すコード(符号)など7つの分析ツールを開発。バランスを正確にとらえるガイドラインを設定しました。

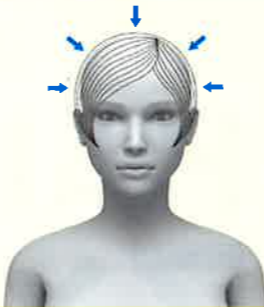
D-3 デザインセンターラインとポイント

ヘアスタイルのバランスを取る際に鍵となるデザインセンターライン。シルエットバランスを保つには、仕上がリングスの1/2の位置に定める。



D-1 デザインベクトル

タイトに収める、ワイドに膨らませるなどデザインに方向性を与える尺度のこと。サロンワークではリングスを決めてシルエットを考える時に思い浮かべる「矢印」。



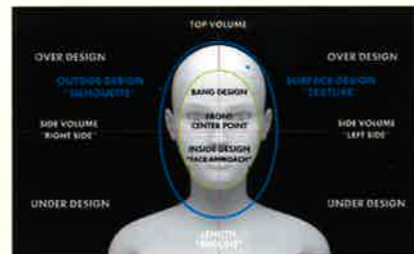
D-2 デザイングリッド

地図の経線や緯線のように縦線と横線を決め、シルエットが通過するポイントによってリングスやトップのボリューム、サイドのワイド感などを示す座標。



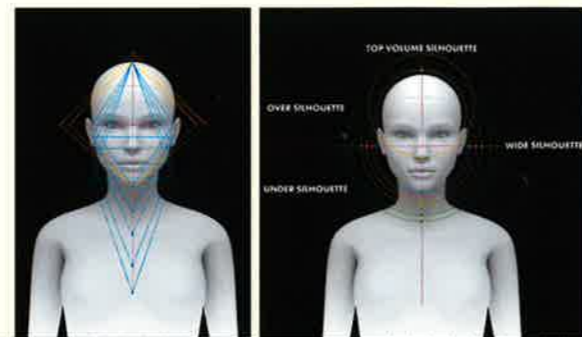
D-4 デザインゾーン

ヘアスタイルを分割してとらえるゾーニングの考え方。オーバーとアンダーの上下分割と、顔周りやバングのインサイドおよび外側のシルエットを区分する内外分割の2つがある。



D-6 デザインスケール

ヘアデザインのバランスを取る際に用いるモノサシのこと。トライアングルスケールとラウンドスケールの2種類があり、トップボリュームやエンドラインを求める基準になる。



D-7 デザインコード

ヘアスタイルの形を英文字にたとえ、イメージをとらえやすくした記号。形の組み合わせを考えたり、デザインスケールを当てはめる際に役立つ。



あなたの「地力」をたくわえる
ディスカバリー発見

あなたの「景色」が変わる
フォーミュラII公式

F-2 シングルトライアングル

ミディアムリングスによく見られるオーバーとアンダーシルエットの関係性を解明した公式。サイドのボリューム感やワイド感のアプローチと、仕上がリングスとのバランス論。

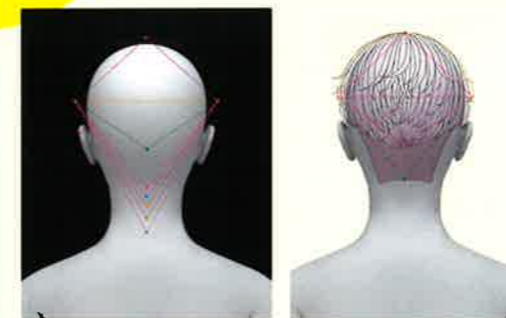


F-3 ダブルトライアングル

デザインセンター線より下にウエイトポイントがある場合に用いる公式。重なり合う2つの三角形で解説できるミディアム～ロングに多いバランスの取り方。



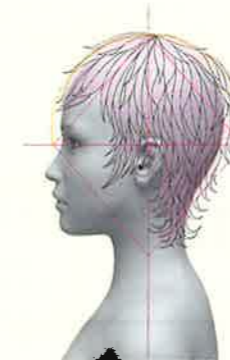
F-6 バックトリプルトライアングル



顔がなく、ヘアだけで成立する後ろの公式。アウトサイドのシルエットはフロントから見た時と同じになるという原理を使って理論化する。襟足との関係性を詳しく解説。

F-7 クロスディバイデッドトライアングル

オーバーとアンダー、フロントとバック。4分割で考えるサイドビューの公式。ショートスタイルにおけるデザインセンターポイントの決め方など。



FORMULA 7

ベストバランスを導く7つの公式

DISCOVERYのスケールやコードを使って、ヘアデザインを組み立てる法則を編み出しました。ヘアデザインのプロセスで最も重要なのはウエイトポイントやエンドラインを構成するラインを見抜くことです。

F-1 ラウンドスケールとトライアングルスケール

上部が丸みを帯びている、主にストレートダウンスタイルで見られる公式。顔とのマッチングを意識しながら、どの長さにかットするかでデザインが決まるスタイルを分解整理。



F-4 インサイドトライアングル

顔を中心とするインデザイン(内側)とアウトデザインとの関係性を表した公式。そのアプローチ法やデザインポイントの決め方、顔と髪の分量などを解く「内側のフォーミュラ」。



F-5 アウトサイドトライアングル

ショートスタイルでは、アウトとインで顔の範囲内でバランスを取り、目を中心に同じ比率で上にスライドするとヘアデザインの角になる、という発見を伴った公式。

